

# 精鋭 教育

## 教育が拓く新しい希望

国立南科実験高等学校（以下、南科実中）は、2011年度初等部42クラス、中等部24クラス、高等部10クラス、バイリンガル部12クラスの計88クラスあり、2381人が在籍しています。南科実中は最新の教育設備を揃え、国際、創意、科学技術を主軸理念として理数教育重視のカリキュラムを組んでいます。学生自らが学ぼうとする姿勢を養い、多面的な能力開発を重んじることで将来南科の発展を担う人材を育成しています。

## 各種コンテストで優秀な成績

### 音楽コンクール

南科実中吹奏楽団の中等部と初等部が2011年台南市音楽コンクールに出場して団体の部で団体優等を獲得しました。吹奏楽団中等部メンバーによる管楽五重奏も優等を獲得したほか、初参加の打楽器アンサンブルも優等に選ばれ全国大会への出場権を勝ち取りました。

2011年台南市音楽コンクール北区個人の部ではピアノ独奏の1位から3位までを南科実中の生徒が独占しました、1位の詹佳容は続く台南市音楽コンクールでも個人選抜ピアノ独奏でも中学B組の1位優等に輝いています。

### 美術コンクール

2011年台南市美術コンクールは生徒たちの関心も高く、応募数が大幅に増加しました。高等部、中等部ともに素晴らしい成績を収め、中でも高等部3年1組の蘇郁鈞は北区書道の部で1位を獲得し、台南市代表として参加した全国美術コンクール書道の部でも入選を果たしました。

### 演劇コンクール

2011年百世基金会孝道創意コンクールに8年（中等部2年生）8組の代表「威鯨8方隊」が出演。彼らの「我們這一家之木蓮救母」は、生き生きと創意にあふれた脚本と自然で滑らかな演技によって競争の激しい高校の部で優選に輝き、観客の好評を得ることができました。

### 中国語ディベート大会

「您好演辯社」部員の余方錡、吳哲緯、陳卉芯、陳韵茹、楊晴雅、戴庭筠、羅世樺は第10回「中正盃」ディベート大会で準優勝を獲得。さらに高等部1年3組の陳卉芯さんが同大会で最優秀ディベーター賞を受賞しました。

### その他の成績

台南市第51回小中学校科学展覧会で南科実中中等部の蘇子涵ら6人が数学科で優等、生物科で佳作に入選；南科実中中等部の魏子傑さんはマレーシア国際発明展で銀メダルを獲得；8月30日、南科実中高等部が思源科学創意コンクール南部大会で一等賞を獲得；2011全国高校生科普論文コンクールで南科実中が金メダル2、銀メダル2、銅メダル1の快挙。



▲（左から順に）許傑恩、詹佳容、袁蓁が中学ピアノB組で上位三位を独占（2011.11.23）



▲南科カップ英語ディベート大会で南科実中バイリンガル部のディベートチームがチャンピオンに輝く (2011.3.19)



▲南科実中バイリンガル部のディベートチームが台北の薇閣中学にて記念撮影 (2011.12.27)

### 南科実中バイリンガル部が西賽羅 カップ英語ディベート大会で優勝

南科実中バイリンガル部のディベートクラブは成立してまだ1年半ですが、英語ディベートを得意とする Daniel Fruit 博士による指導の下、台北市政府の委託で薇閣中学が主催する西賽羅カップ英語ディベート大会で2大会連続優勝を果たしました。1月、南科実中から出場した2チームのうち1チームが優勝し、12年生の陳宣佑が最優秀ディベーターの栄誉に輝きました。12月に再び台北入りして北部の有名高校やバイリンガル学校のチームと対戦し、優勝。さらに12年生の林育辰と11年生の鄭筱安が最優秀ディベーターに選ばれるなど、他の出場チームに南科実中ディベートチームの実力を印象付けることができました。

台北アメリカンスクール、高雄アメリカンスクール、義守インターナショナルスクールを招待して3月に開催した第一回南科カップディベート大会でも、バイリンガル部のディベートチームが優勝しました。



▲献血に臨む生徒たち。献血の看板を前に興奮ざみ。(2011.12.6)



▲貯金箱を持った南科実中の生徒が「愛のカード」を愛心箱に投入。南科の愛が日本に届きますように。(2011.4.6)

### 一袋の献血が一人の命を救う 高等部「献血成人式」活動

生徒指導室は高等部の生徒を対象に「献血成人式」活動を行い、50人余りの生徒と教職員がこれに参加しました。これは生徒たちにとって命の大切さを学ぶ絶好の機会であるとともに、自らの成長を愛で示す最高の成人式となりました。

### 南科実中から義捐金を日本へ

南科実中は日本に震災義捐金を送るため、4月初めに「南科有愛、日本加油」活動を計画しました。4月6日午前には愛の募金活動が実施され、集まった28万余元の義捐金は赤十字社台南市支部のスタッフに託されました。南科実中で唯一日本人の血を引く毛裕理さんがお礼の挨拶のために壇上に立ち、生徒たちは日本の皆さんのために手話で祈りの言葉を捧げました。南科実中の生徒、教職員の愛が日本に届くことを願っています。



▲南科実中による「南科有愛、日本加油」募金活動。赤十字に託して日本へ。(2011.4.6)



▲心路文教基金会のボランティアに踊りの指導を受ける南科実中の生徒たち（2011.12.6）

### 南科に愛あり 南科実中が知的障害児の愛に包まれる時

生徒たちに命の素晴らしさを体験させるため、南科実中生徒指導室は12月6日、心路文教基金を招待して特別支援教育について知ってもらう活動を企画しました。こうした催しは知的障害のある青年たちにとっても実中初等部にとって

も初めての経験でしたが、子供たちはふれ合いと笑顔の中から異なる個性を持って生まれた命に対する感動を心に刻んでくれることでしょう。

### 本は良き友 読書を習慣化

南科実中には高等部の図書情報館本館と初等部の児童分館の二つの図書館があり、子供たちに読書の習慣を身に付けさせようと努力しています。生徒一人当りの年間貸し出し数は25冊以上に上り、2011年度も校外の読書感想文コンクールに参加した生徒たちが次々と入賞を果たしました。例えば、「建国100、読書100」青少年読書感想文コンクールでは小学校高学年の部で全国2位、中学校の部で全国3位に佳作3本、全国48本の入賞作品のうち5本が南科実中の生徒の作品という素晴らしい成績を収めています。

高等部が参加した全国高校読書感想文コンクールでは、特優12名、優等11名、甲等22名と参加者の94%が入賞し、全国高校小論文コンクールではまたも86%という高い入賞率を達成しました。高等部の生徒の間では読書感想文や小論文に対する関心が高まっています。



▲特別支援教育について生徒たちに理解を深めてもらおうと南科実中を訪れた心路文教基金会（2011.12.6）

## 高等部新校舎が内政部ダイヤモンド級グリーン建築優良作品賞を受賞

南科実中高等部の新校舎は2011年12月17日、内政部が発表するグリーン建築優良作品賞を受賞し、ダイヤモンド級グリーン建築に認定されました。また、グリーン建築のモデルケースにも選ばれ、今では毎月のように国内外の訪問客を迎える国内有数のグリーン建築キャンパスの手本となっています。来訪者数はすでに700人を突破しました。

## 南科実中吹奏楽団が日台交流音楽会を開催

国際交流は南科実中における国際教育の一

環として重視されています。12月25日に南科実中は日本から来たお客様、島根県吹奏楽連盟出雲支部高等学校選抜吹奏楽団を温かく迎え、合同演奏会を行いました。当日は林祐錫先生だけでなく、日本の高校吹奏楽界で最も人気の高い丸谷明夫先生もタクトを振り、その素晴らしい指揮に一同感銘を受けました。また、日本の高校生たち64人を南科実中の30人の生徒たちの家に迎えて二泊三日のホームステイを体験してもらったことは、子供たちの心にいつまでも残る美しい思い出として言及しておいた方がいいでしょう。南科の子供たちがこうした国際交流を通じて日本の礼儀や秩序、規律を重んじる精神を学び取り、お手本としてくれることを願っています。✧



▲南科実中吹奏楽団と日本島根県吹奏楽連盟出雲支部高校選抜吹奏楽団が日台交流音楽会を開催（2011.12.25）